

香川大学教育学部附属坂出小学校

第2回わくわく授業づくりワークショップ

「**中学年の社会科授業づくり**」

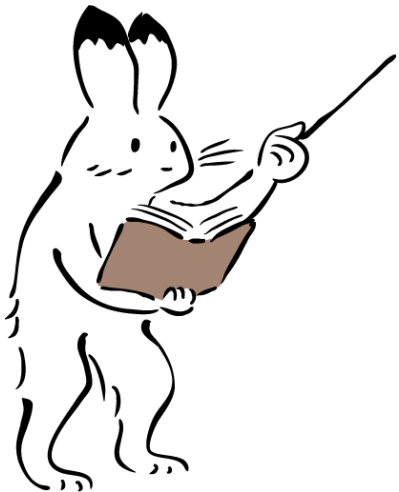
滝井 康隆

ご意見・ご質問はこちら

→[takii.yasutaka@kagawa-u.ac.jp](mailto:takii.yasutaka@kagawa-u.ac.jp)

# もくじ

- はじめに
- 新学習指導要領のポイント（中学年）
- 実践事例紹介
- 授業構成のポイント



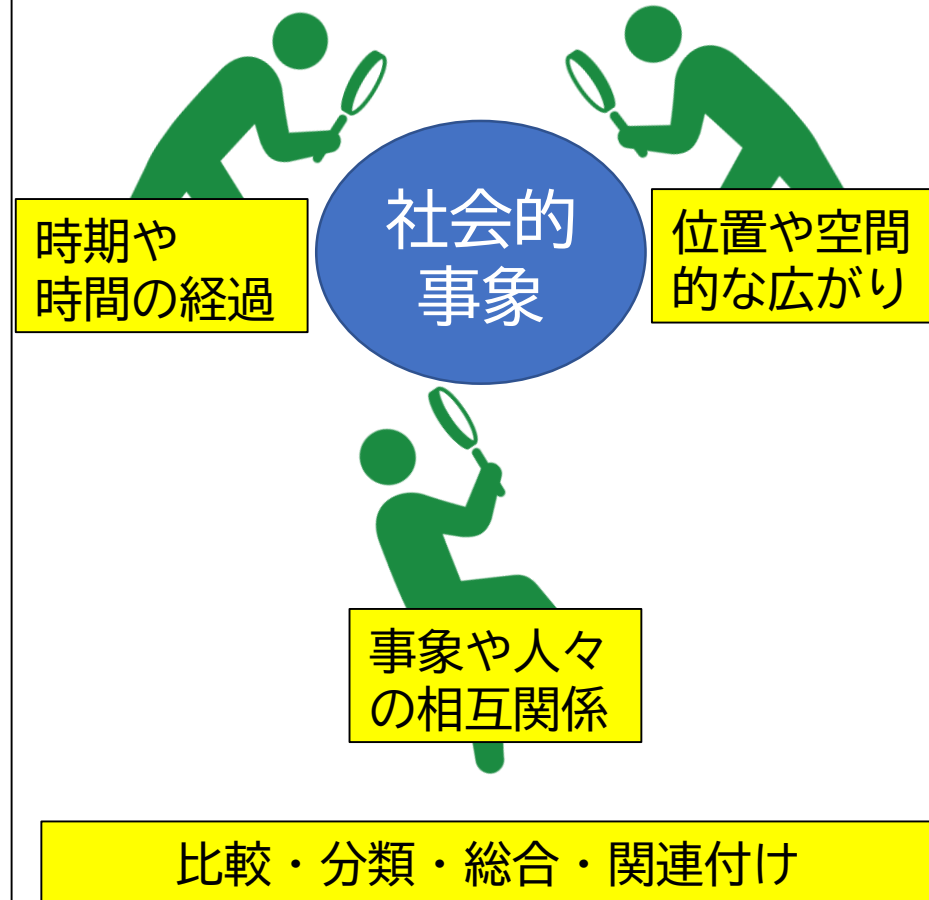
社会科とは、一定の教科内容を持ち、それを学習することによって子どもたちが社会や国家についての構造的、発展的な認識を育て、社会に関する諸科学を学ぶ基礎・基本を培う教科である。

社会や国家  
についての  
構造的、  
発展的な  
認識

社会認識

小学校社会科においては、「社会的事象を、位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること」

## 見方・考え方



## 社会認識



平和で民主的な国家・社会の形成者



公民的な資質・能力の基礎

資質・能力

社会的事象の見方・考え方を働かせる学び

## 第3学年

市を中心とする  
地域社会

## 第4学年

県を中心とする  
地域社会

# より地域に密着した社会科学習の展開

New!!

- ・市の様子の移り変わり
- ・市役所

New!!

- ・自然災害
- ・県内の伝統文化
- ・国際交流

## 1 第3学年の内容

第3学年の内容は、地域社会の社会的事象について、次の四つの項目から構成されている(なお、(1)、(2)及び(4)の丸数字は主として区分される番号を示している。)

- (1) 身近な地域や市区町村の様子・・・・・・・・① ①地理的環境と人々の生活
- (2) 地域に見られる生産や販売の仕事・・・・・・・・③ ③現代社会の仕組みや働きと人々の生活
- (3) 地域の安全を守る働き・・・・・・・・③
- (4) 市の様子の移り変わり・・・・・・・・② ②歴史と人々の生活

第3学年では、これらの内容を取り上げ、自分たちの市を中心とした地域の社会生活を総合的に理解できるようにするとともに、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うようにする。



(1) 身近な地域や市区町村（以下第2章第2節において「市」という。）の様子について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 身近な地域や自分たちの市の様子を大まかに理解すること。

(イ) 観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 都道府県内における市の位置，市の地形や土地利用，交通の広がり，市役所など主な公共施設の場所と働き，古くから残る建造物の分布などに着目して，身近な地域や市の様子を捉え，場所による違いを考え，表現すること。

(1) 内容の(1)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア 学年の導入で扱うこととし、アの(ア)については、「自分たちの市」に重点を置くよう配慮すること。

イ アの(イ)については、「白地図などにまとめる」際に、教科用図書「地図」(以下第2章第2節において「地図帳」という。)を参照し、方位や主な地図記号について扱うこと。

内容の(1)は学年の導入で行う。

→内容の(2) (3) (4)には関わりがある。



(2) 地域に見られる生産や販売の仕事について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解すること。

(イ) 販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解すること。

(ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 仕事の種類や産地の分布，仕事の工程などに着目して，生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え，地域の人々の生活との関連を考え，表現すること。

(イ) 消費者の願い，販売の仕方，他地域や外国との関わりなどに着目して，販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え，それらの仕事に見られる工夫を考え，表現すること。



(2) 内容の(2)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(ア)及びイの(ア)については、事例として農家、工場などの中から選択して取り上げるようにすること。

イ アの(イ)及びイの(イ)については、商店を取り上げ、「他地域や外国との関わり」を扱う際には、地図帳などを使用して都道府県や国の名称と位置などを調べるようにすること。

ウ イの(イ)については、我が国や外国には国旗があることを理解し、それを尊重する態度を養うよう配慮すること。





(3) 地域の安全を守る働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解すること。

(イ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現すること。

(3) 内容の(3)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(ア)の「緊急時に対処する体制をとっていること」と「防止に努めていること」については、火災と事故はいずれも取り上げること。その際、どちらかに重点を置くなど効果的な指導を工夫すること。

イ イの(ア)については、社会生活を営む上で大切な法やきまりについて扱うとともに、地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。

緊急時の対応と未然防止を軽重を付けながら、火災と事故の両方において取り上げる。



(4) 市の様子の移り変わりについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解すること。

(イ) 聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。



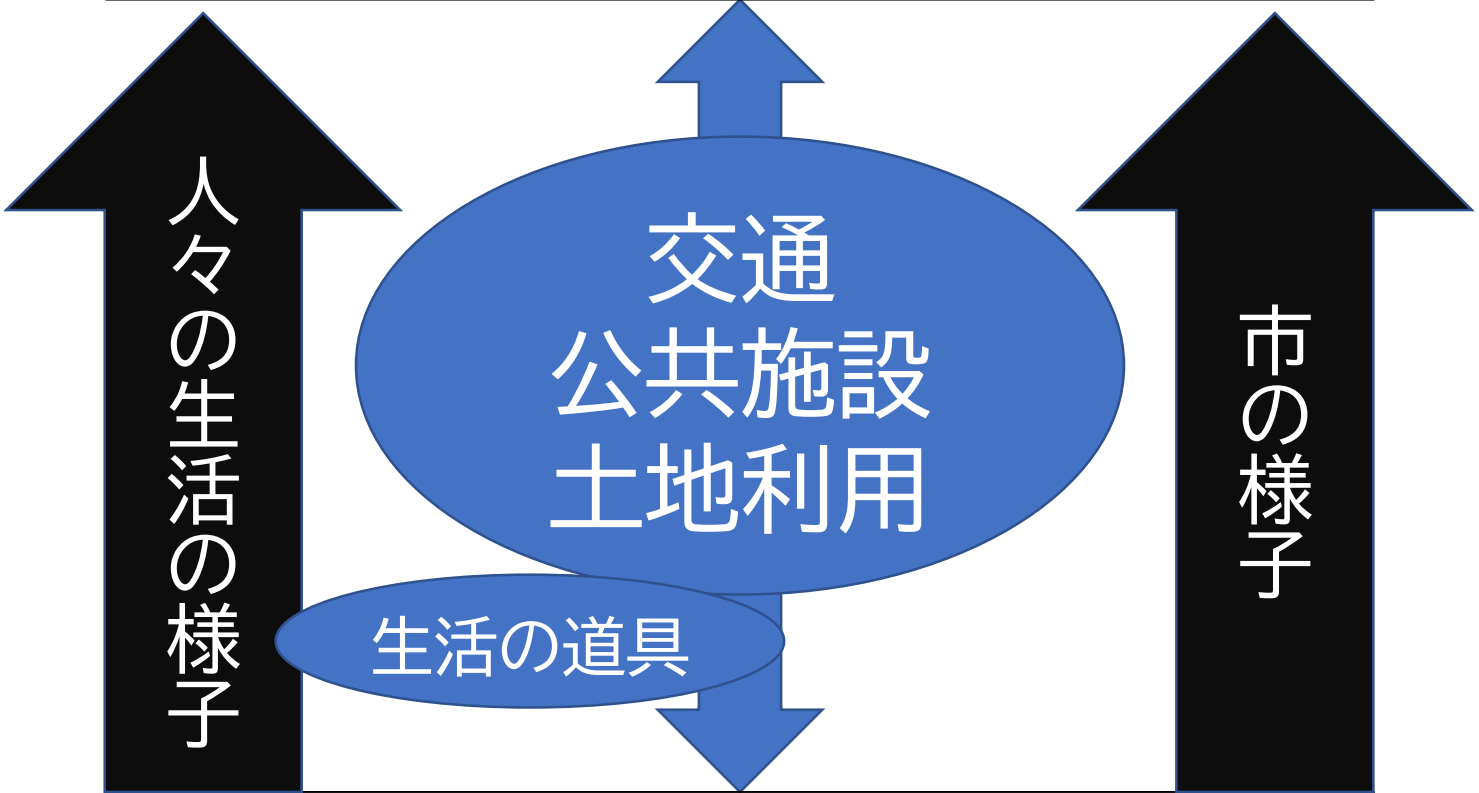
(4) 内容の(4)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(イ)の「年表などにまとめる」際には、時期の区分について、昭和、平成など元号を用いた言い表し方などがあることを取り上げること。

イ イの(ア)の「公共施設」については、市が公共施設の整備を進めてきたことを取り上げること。その際、租税の役割に触れること。

ウ イの(ア)の「人口」を取り上げる際には、少子高齢化、国際化などに触れ、これからの市の発展について考えることができるよう配慮すること。

(1) 身近な地域や市区町村の様子



(4) 市の様子の変り変わり

## ● 2 第4学年の内容

第4学年の内容は、地域社会の社会的事象について、次の五つの項目から構成されている（なお、(2)から(5)までの丸数字は主として区分される番号を示している。）。

- (1) 都道府県の様子・・・・・・・・・・・・・・・・① ①地理的環境と人々の生活
- (2) 人々の健康や生活環境を支える事業・・・・・・・・③ ③現代社会の仕組みや働きと人々の生活
- (3) 自然災害から人々を守る活動・・・・・・・・③
- (4) 県内の伝統や文化、先人の働き・・・・・・・・② ②歴史と人々の生活
- (5) 県内の特色ある地域の様子・・・・・・・・① ①地理的環境と人々の生活

第4学年では、これらの内容を取り上げ、自分たちの県を中心とした地域の社会生活を総合的に理解できるようにするとともに、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うようにする。



(1) 都道府県（以下第2章第2節において「県」という。）の様子について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 自分たちの県の地理的環境の概要を理解すること。また、47都道府県の名称と位置を理解すること。

(イ) 地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、県の様子を捉え、地理的環境の特色を考え、表現すること。





(2) 人々の健康や生活環境を支える事業について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 飲料水、電気、ガスを供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解すること。

(イ) 廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解すること。

(ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめること。



イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 供給の仕組みや経路，県内外の人々の協力などに着目して，飲料水，電気，ガスの供給のための事業の様子を捉え，それらの事業が果たす役割を考え，表現すること。

(イ) 処理の仕組みや再利用，県内外の人々の協力などに着目して，廃棄物の処理のための事業の様子を捉え，その事業が果たす役割を考え，表現すること。

(1) 内容の(2)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(ア)及び(イ)については、現在に至るまでに仕組みが計画的に改善され公衆衛生が向上してきたことに触れること。

イ アの(ア)及びイの(ア)については、飲料水、電気、ガスの中から選択して取り上げること。

ウ アの(イ)及びイの(イ)については、ごみ、下水のいずれかを選択して取り上げること。

エ イの(ア)については、節水や節電など自分たちにできることを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。

オ イの(イ)については、社会生活を営む上で大切な法やきまりについて扱うとともに、ごみの減量や水を汚さない工夫など、自分たちにできることを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。



(3) 自然災害から人々を守る活動について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること。

(イ) 聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、まとめること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 過去に発生した地域の自然災害，関係機関の協力などに着目して，災害から人々を守る活動を捉え，その働きを考え，表現すること。

(2) 内容の(3)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(ア)については、地震災害，津波災害，風水害，火山災害，雪害などの中から、過去に県内で発生したものを選択して取り上げること。

イ アの(ア)及びイの(ア)の「関係機関」については、県庁や市役所の働きなどを中心に取り上げ、防災情報の発信，避難体制の確保などの働き，自衛隊など国の機関との関わりを取り上げること。

ウ イの(ア)については、地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるように配慮すること。





(4) 県内の伝統や文化，先人の働きについて，学習の問題を追究・解決する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 県内の文化財や年中行事は，地域の人々が受け継いできたことや，それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解すること。

(イ) 地域の発展に尽くした先人は，様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解すること。

(ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，年表などにまとめること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 歴史的背景や現在に至る経過，保存や継承のための取組などに着目して，県内の文化財や年中行事の様子を捉え，人々の願いや努力を考え，表現すること。

(イ) 当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して，地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え，先人の働きを考え，表現すること。

(3) 内容の(4)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(ア)については、県内の主な文化財や年中行事が大まかに分かるようにするとともに、イの(ア)については、それらの中から具体的事例を取り上げること。

イ アの(イ)及びイの(イ)については、開発，教育，医療，文化，産業などの地域の発展に尽くした先人の中から選択して取り上げること。

ウ イの(ア)については、地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。



(5) 県内の特色ある地域の様子について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解すること。

(イ) 地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現すること。

(4) 内容の(5)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア 県内の特色ある地域が大まかに分かるようにするとともに、伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域，国際交流に取り組んでいる地域及び地域の資源を保護・活用している地域を取り上げること。その際，地域の資源を保護・活用している地域については，自然環境，伝統的な文化のいずれかを選択して取り上げること。

イ 国際交流に取り組んでいる地域を取り上げる際には，我が国や外国には国旗があることを理解し，それを尊重する態度を養うよう配慮すること。

- ・ 伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域
- ・ 国際交流に取り組んでいる地域
- ・ 地域の資源を保護・活用している地域  
(自然環境か伝統的な文化)



香川県の理解

第3学年  
の内容



第4学年の内容

選択  
判断

選択  
判断

選択  
判断

根拠のある発想

自分たちが住んでいる地域の理解

# 第4学年社会科：授業実践

## 水はどこから ～整備・発展から維持へ～

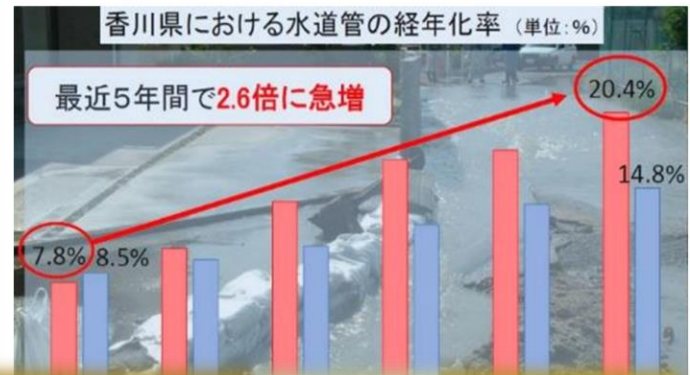
### 水不足に苦しんできた香川県

○ため池数 約14600か所 → 全国一の密度

○戦後における高松市における渇水による給水制限

昭和25年	約40日間 (うち断水約40日間)
昭和27年	約20日間 (うち断水約20日間)
昭和31年	21日間 (うち断水 21日間)
昭和32年	16日間 (うち断水 7日間)
昭和35年	100日間
昭和39年	95日間 (うち断水 10日間)
昭和42年	44日間 (うち断水 34日間)
昭和48年	63日間 (うち断水 55日間)

昭和49年 香川用水が通水



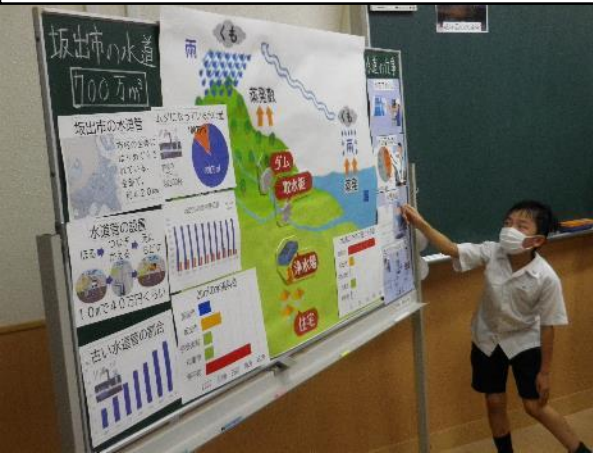
# 単元の概要

次	学習の流れ	働きかけ
一	<p>①② 水は、どこでどのように使われているのだろう</p> <p>学校には、水道の蛇口が約100個あり、全体で330m<sup>3</sup>の水が1ヶ月で使われている。</p>	<p>前②～⑪【香川の水道マップ】</p> <p>水が通る経路や渇水対策の歴史など、既習事項を補助黒板にまとめ、授業の最初に確認する。</p>
二	<p>③④ 水は、どこからどのようにして来ているのだろう</p> <p>自分たちが使っている水は坂出市の鴨川浄水場で浄化され水道管を通過して手元まで来ていることを理解し、県内外の水源地の場所などを知る。</p> <p>⑤⑥ 香川用水は何のためにつくられたのだろう</p> <p>過去に香川県で渇水の被害が起こったことを知り、香川用水をつくることで水不足を解決してきたという歴史を理解する。</p>	<p>中①～⑪【話し合いボード】</p> <p>個人で違う色の付箋に考えを書き、班で1枚のボードに根拠となる資料とともに貼り付ける。その後、同じ考えの付箋をまとめる。</p>
三	<p>⑦ これからも香川県の水は安心して使い続けられるだろうか</p> <p>職員数の減少や施設の老朽化という新たな問題が生じていることを知る。</p> <p>⑧ どうすれば坂出市全体の水道管を新しくできるのだろう (本時8/11)</p> <p>古い水道管を更新するために必要なことを理解する。</p> <p>⑨⑩ 香川県広域水道企業団ではどのようなことをしているのだろう</p> <p>各自治体が協力して水道管更新、渇水対策をしていることを理解する。</p> <p>⑪ これからも安心して水を使い続けるためにどうすればいいだろう</p> <p>人口が減っていく香川県のよりよい水道事業の在り方を考える。</p>	<p>後①～⑪【考えチェックカード】</p> <p>単元を通して、1枚の用紙に自分の考えが変化したかとその理由、考えの根拠をもっていたか、不思議に思うことの3観点で振り返る。</p>



# 本時の概要

1 学習課題を確認する。



どうすれば坂出市全体の水道管を新しくできるのだろう

2 水道管を更新するために必要なことを考え、話し合う。



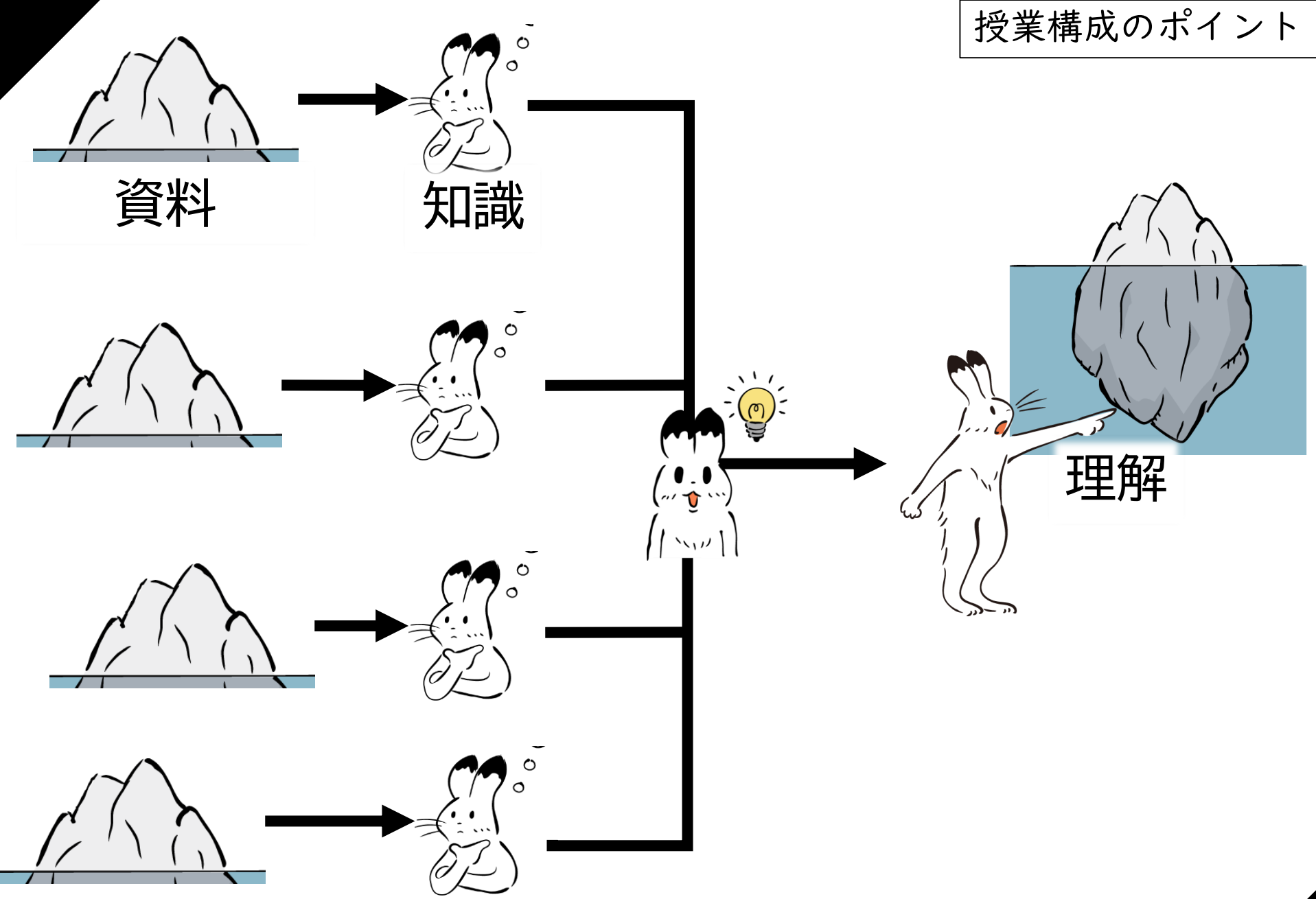
4 本時の学習を振り返る。



3 香川県広域水道企業団の存在を知る。



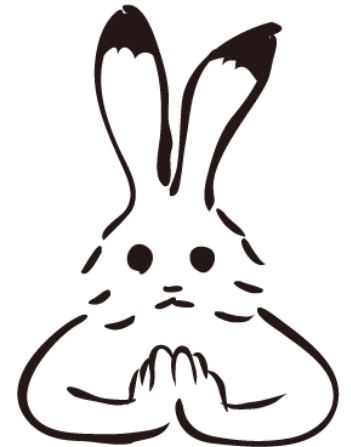




# 単元の概要

次	学習の流れ	働きかけ
一	<p>①② 水は、どこでどのように使われているのだろう</p> <p>水の使用量を知り、それらの水がどこからどのようにして自分たちのところまで来ているのかについて追究する意欲を高め、学習計画を立てる。</p>	<p>前②～④【香川県の水道マップ】</p> <p>水の使用量、漏水対策の歴史、香川県の補助黒</p>
二	<p>③④ 水は、どこからどのようにして来ているのだろう</p> <p>自分たちが使っている水は坂出市の鴨川浄水場で浄化され水道管を通過して手元まで来ていることを理解し、県内外の水源の場所などを知る。</p> <p>⑤⑥ 香川用水は何のためにつくられたのだろう</p> <p>過去に香川県で渇水の被害が起こったことを知り、香川用水をつくることで水不足を解決してきたという歴史を理解する。</p>	<p>見える 初に確認する。</p> <p>中①～⑩【話し合いボード】</p> <p>個人で違う色の付箋に考えを書き、班で1枚のボードに根拠となる資料とともに貼り付ける。その中で、同じ考えの付箋をまとめる。</p>
三	<p>⑦ これからも香川県の水は安心して使い続けられるだろうか</p> <p>職員数の減少や施設の老朽化という新たな問題が生じていることを知る。</p> <p>⑧ どうすれば坂出市全体の水道管を新しくできるのだろう (本時8/11)</p> <p>古い水道管を更新するために必要なことを理解する。</p> <p>⑨⑩ 香川県広域水道企業団ではどのようなことをしているのだろう</p> <p>各自治体が協力して水道管更新、渇水対策をしていることを理解する。</p> <p>⑪ これからも安心して水を使い続けるためにどうすればいいだろう</p> <p>人口が減っていく香川県のよりよい水道事業の在り方を考える。</p>	<p>見えない うこと</p> <p>の観点から振り返る。</p>

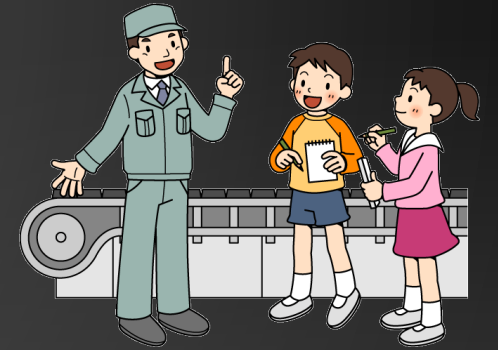
中学年の部はここまで  
続きは、のちほど



ご意見・ご質問はこちら→[taki i. yasutaka@kagawa-u. ac. jp](mailto:taki i. yasutaka@kagawa-u. ac. jp)



# 高学年の社会科授業づくり ～ 歴史学習編 ～



香川大学教育学部附属坂出小学校 網野 未来

1 学習指導要領のポイント（高学年）

2 第6学年「町人の文化と新しい学問」の実践

3 単元づくりに挑戦！

## 第5学年

我が国の  
国土と産業

時代と共に変化する  
産業の発展

New!!

・産業と情報の関わり

## 第6学年

我が国の政治と  
歴史，国際理解

小学校らしい  
歴史学習（人物や文化遺産を重視）

New!!

・政治が（1）に



### ● 3 第5学年の内容

第5学年の内容は、我が国の国土や産業に関わって、次の五つの項目から構成されている（なお、(1)から(4)までの丸数字は主として区分される番号を示している。）。

- (1) 我が国の国土の様子と国民生活・・・① ①地理的環境と人々の生活
- (2) 我が国の農業や水産業における食料生産・・・③
- (3) 我が国の工業生産・・・③ ③現代社会の仕組みや働きと人々の生活
- (4) 我が国の産業と情報との関わり・・・③
- (5) 我が国の国土の自然環境と国民生活の関わり・・・① ①地理的環境と人々の生活

第5学年では、これらの内容を取り上げ、我が国の国土と産業の様子や特色を総合的に理解できるようにするとともに、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養うようにする。

(1) 我が国の国土の様子と国民生活について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解すること。

(イ) 我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解すること。

(ウ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、我が国の国土の様子を捉え、その特色を考え、表現すること。

(イ) 地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現すること。



(1) 内容の(1)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(ア)の「領土の範囲」については、竹島や北方領土、尖閣諸島が我が国の固有の領土であることに触れること。

イ アの(ウ)については、地図帳や地球儀を用いて、方位、緯度や経度などによる位置の表し方について取り扱うこと。

ウ イの(ア)の「主な国」については、名称についても扱うようにし、近隣の諸国を含めて取り上げる。その際、我が国や諸外国には国旗があることを理解し、それを尊重する態度を養うよう配慮すること。

エ イの(イ)の「自然条件から見て特色ある地域」については、地形条件や気候条件から見て特色ある地域を取り上げる。

- (2) 我が国の農業や水産業における食料生産について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
- (ア) 我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解すること。
- (イ) 食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解すること。
- (ウ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。
- イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
- (ア) 生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。
- (イ) 生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。

(2) 内容の(2)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(イ)及びイの(イ)については、食料生産の盛んな地域の具体的事例を通して調べることとし、稲作のほか、野菜、果物、畜産物、水産物などの中から一つを取り上げること。

イ イの(ア)及び(イ)については、消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの農業などの発展について、自分の考えをまとめることができるよう配慮すること。



(3) 我が国の工業生産について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解すること。

(イ) 工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解すること。

(ウ) 貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解すること。

(エ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 工業の種類，工業の盛んな地域の分布，工業製品の改良などに着目して，工業生産の概要を捉え，工業生産が国民生活に果たす役割を考え，表現すること。

(イ) 製造の工程，工場相互の協力関係，優れた技術などに着目して，工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え，その働きを考え，表現すること。

(ウ) 交通網の広がり，外国との関わりなどに着目して，貿易や運輸の様子を捉え，それらの役割を考え，表現すること。



(3) 内容の(3)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(イ)及びイの(イ)については、工業の盛んな地域の具体的事例を通して調べることとし、金属工業，機械工業，化学工業，食料品工業などの中から一つを取り上げること。

イ イの(ア)及び(イ)については、消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの工業の発展について、自分の考えをまとめることができるよう配慮すること。

(4) 我が国の産業と情報との関わりについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 放送、新聞などの産業は、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解すること。

(イ) 大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解すること。

(ウ) 聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりして、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目して、放送、新聞などの産業の様子を捉え、それらの産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。

(イ) 情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること

(4) 内容の(4)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(ア)の「放送，新聞などの産業」については，それらの中から選択して取り上げること。その際，情報を有効に活用することについて，情報の送り手と受け手の立場から多角的に考え，受け手として正しく判断することや送り手として責任をもつことが大切であることに気付くようにすること。

イ アの(イ)及びイの(イ)については，情報や情報技術を活用して発展している販売，運輸，観光，医療，福祉などに関わる産業の中から選択して取り上げること。その際，産業と国民の立場から多角的に考えて，情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について，自分の考えをまとめることができるよう配慮すること。



(5) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解すること。

(イ) 森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解すること。

(ウ) 関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解するとともに、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解すること。

(エ) 地図帳や各種の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 災害の種類や発生の位置や時期，防災対策などに着目して，国土の自然災害の状況を捉え，自然条件との関連を考え，表現すること。

(イ) 森林資源の分布や働きなどに着目して，国土の環境を捉え，森林資源が果たす役割を考え，表現すること。

(ウ) 公害の発生時期や経過，人々の協力や努力などに着目して，公害防止の取組を捉え，その働きを考え，表現すること。

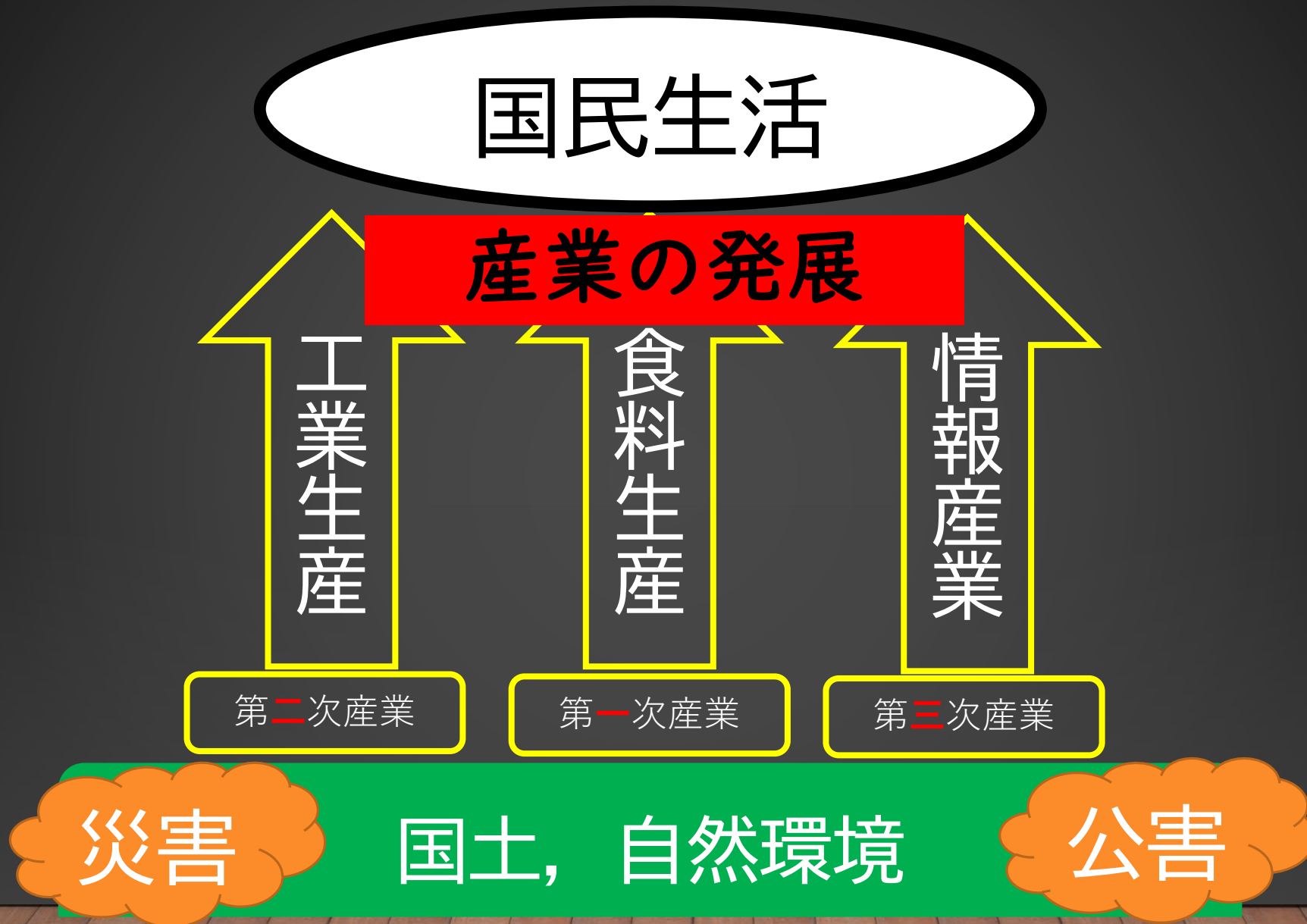


(5) 内容の(5)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(ア)については、地震災害，津波災害，風水害，火山災害，雪害などを取り上げること。

イ アの(イ)及びイの(イ)については、大気汚染，水質汚濁などの中から具体的事例を選択して取り上げること。

ウ イの(イ)及び(ウ)については、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるように配慮すること。



## ● 4 第6学年の内容

第6学年の内容は、我が国の政治、歴史及び国際理解の三つの項目から構成されている（なお、(3)の丸数字は主として区分される番号を示している。）。

- (1) 我が国の政治の働き・・・・・・・・・・・・・・・・③ ③現代社会の仕組みや働きと人々の生活
- (2) 我が国の歴史上の主な事象・・・・・・・・・・・・② ②歴史と人々の生活
- (3) グローバル化する世界と日本の役割・・・・・・・・③ ③現代社会の仕組みや働きと人々の生活

第6学年では、これらの内容を取り上げ、我が国の政治の働きや歴史、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解できるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養うようにする。



(1) 我が国の政治の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 日本国憲法は国家の理想，天皇の地位，国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや，現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するとともに，立法，行政，司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解すること。

(イ) 国や地方公共団体の政治は，国民主権の考え方の下，国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解すること。

(ウ) 見学・調査したり各種の資料で調べたりして，まとめること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 日本国憲法の基本的な考え方に着目して，我が国の民主政治を捉え，日本国憲法が国民生活に果たす役割や，国会，内閣，裁判所と国民との関わりを考え，表現すること。

(イ) 政策の内容や計画から実施までの過程，法令や予算との関わりなどに着目して，国や地方公共団体の政治の取組を捉え，国民生活における政治の働きを考え，表現すること。



(1) 内容の(1)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(ア)については、国会などの議会政治や選挙の意味、国会と内閣と裁判所の三権相互の関連、裁判員制度や租税の役割などについて扱うこと。その際、イの(ア)に関わって、国民としての政治への関わり方について多角的に考えて、自分の考えをまとめることができるよう配慮すること。

イ アの(ア)の「天皇の地位」については、日本国憲法に定める天皇の国事に関する行為など児童に理解しやすい事項を取り上げ、歴史に関する学習との関連も図りながら、天皇についての理解と敬愛の念を深めるようにすること。また、「国民としての権利及び義務」については、参政権、納税の義務などを取り上げること。

ウ アの(イ)の「国や地方公共団体の政治」については、社会保障、自然災害からの復旧や復興、地域の開発や活性化などの取組の中から選択して取り上げること。

エ イの(ア)の「国会」について、国民との関わりを指導する際には、各々の国民の祝日に関心をもち、我が国の社会や文化における意義を考えることができるよう配慮すること。

(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。

(ア)～(シ)は割愛

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

ア，イ，ウ，エ，カは割愛

オ アの(イ)から(サ)までについては、当時の世界との関わりにも目を向け、我が国の歴史を広い視野から捉えられるよう配慮すること。

キ イの(ア)については、歴史学習全体を通して、我が国は長い歴史をもち伝統や文化を育んできたこと、我が国の歴史は政治の中心地や世の中の様子などによって幾つかの時期に分けられることに気付くようにするとともに、現在の自分たちの生活と過去の出来事との関わりを考えたり、過去の出来事を基に現在及び将来の発展を考えたりするなど、歴史を学ぶ意味を考えるようにすること。



(3) グローバル化する世界と日本の役割について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 我が国と経済や文化などの面につながりが深い国の人々の生活は、多様であることを理解するとともに、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解すること。

(イ) 我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解すること。

(ウ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考え、表現すること。

(イ) 地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現すること。



(3) 内容の(3)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アについては、我が国の国旗と国歌の意義を理解し、これを尊重する態度を養うとともに、諸外国の国旗と国歌も同様に尊重する態度を養うよう配慮すること。

イ アの(ア)については、我が国とつながりが深い国から数か国を取り上げる。その際、児童が1か国を選択して調べるよう配慮すること。

ウ アの(ア)については、我が国や諸外国の伝統や文化を尊重しようとする態度を養うよう配慮すること。

エ イについては、世界の人々と共に生きていくために大切なことや、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。

オ イの(イ)については、網羅的、抽象的な扱いを避けるため、「国際連合の働き」については、ユニセフやユネスコの身近な活動を取り上げること。また、「我が国の国際協力の様子」については、教育、医療、農業などの分野で世界に貢献している事例の中から選択して取り上げること。

1 学習指導要領のポイント

2 第6学年「町人の文化と新しい学問」の実践

3 単元づくりに挑戦！

## 授業づくりの4つのポイント

ポイント1 学習指導要領の分析，指導内容の明確化

ポイント2 教材研究（資料で調べる，聞き取り調査等）

ポイント3 単元の構想

ポイント4 本時の構想



## ポイント1 学習指導要領の分析，指導内容の明確化

### 学習指導要領

ア 次のような**知識及び技能**を身に付けること。

(エ) 歌舞伎や浮世絵，国学や蘭学を手掛かりに，町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解すること。

(シ) 遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べ，まとめること。

イ 次のような**思考力，判断力，表現力等**を身に付けること。

(ア) 世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，我が国の歴史上の主な事象を捉え，我が国の歴史の展開を考えるとともに，歴史を学ぶ意味を考え，表現すること。



## 読みかえると

世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，

遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べ，まとめ，

我が国の歴史上の主な事象を捉え，

我が国の歴史の展開を考えるとともに，

歴史を学ぶ意味を考え，表現することを通して，

歌舞伎や浮世絵，国学や蘭学を手がかりに，町人の文化が栄え  
新しい学問が起こったことを理解すること。



# 世の中の様子とは？

『熙代勝覧』



百姓一揆



打ちこわし



# 人物の働きとは？

歌舞伎

浮世絵

蘭学

日本地図

国学

役人を批判





## ポイント2 教材研究（資料で調べる，聞き取り調査等）

教科書，資料集・・・資料の選定

子供向けの本，インターネット・・・調べ学習の際に活用

各種資料（年表，グラフ，絵図など）・・・視点を明確化→学びを焦点化





## ポイント3 単元の構成

次	学習活動
一	<ul style="list-style-type: none"><li>資料から江戸のまちや人々の様子を読み取る。</li></ul> <p>どのような文化や学問が生まれ、世の中はどのように変わっていったのだろう。</p>
二	<ul style="list-style-type: none"><li>江戸の文化や学問について調べ、まとめる。（2時間）</li><li>調べたことについての発表会をする。</li><li>一揆や打ちこわしなどにより、幕府や藩の力はどうなっていったのかを考える。（本時）</li></ul>
三	<ul style="list-style-type: none"><li>江戸の町人文化や新しい学問で活躍した人物に表彰状を書く。</li></ul>

## 第一次の学び



江戸の人々の生活はどのような様子だったのだろうか。資料を読み取ってみよう。

刀を持っている人や、店を開いている人がいるな。  
すし屋や、八百屋、菓子屋などがあるな。  
いろいろな店があって賑わっているな。幕府が安定している中で、  
人々の生活も活気があったのだろう。



## 第一次の学び



どのような出来事があったのか、年表で確かめてみよう。

江戸時代	
1700	
一六四一 鎖国が完成する	一七九八 国学が人々の間に広がる
一六三七 島原・天草一揆が起こる(一三三八) 参勤交代の制度が確立される	一七八七 大塩平八郎の乱が起こる 百姓一揆と打ちこわしがたびたび起こる
一六三五 参勤交代の制度が確立される	一八三三 天保の大きな(一三三九) 伊能忠敬の日本地図が完成する
一六一五 武家諸法度が定められる	一七七四 蘭学が人々の間に広がる 杉田玄白らが「解体新書」を出版する



鎖国が完成することまでは学習したよ。  
町人の文化が栄えていくのだね。どんな文化なのだろう。  
国学や蘭学とはどんな学問なのだろう。  
ききんや百姓一揆、打ちこわしって何だろう。  
世の中の様子はどのようになっていったのだろう。  
これから、文化や学問と、世の中の様子について調べていきたいな。



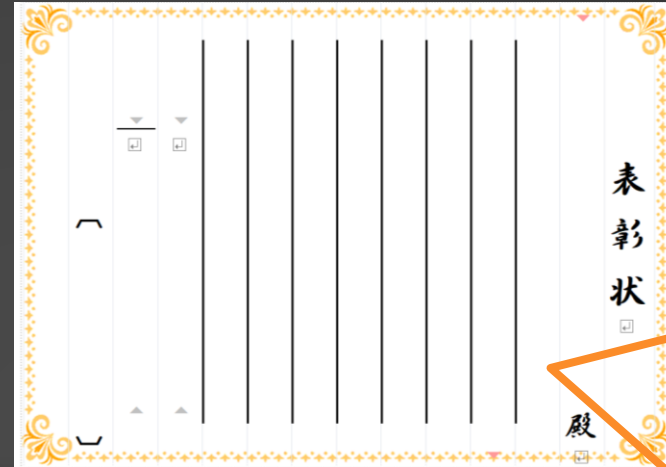


## 第二次の学び



- ①見出し
- ②分かったこと
- ③調べを通してのまとめ

## 第三次の学び



- ・人物の業績について分かったこと、思ったこと
- ・当時の人や現代の人の立場から見た価値





## ポイント4 本時の構成

目 標：グラフや資料から世の中の様子を読み取る活動を通して、幕府や藩の力が衰えてきたことと結び付けて考えることができる。

活動の流れ：①前時の学習を想起し，本時の学習課題をつかむ。

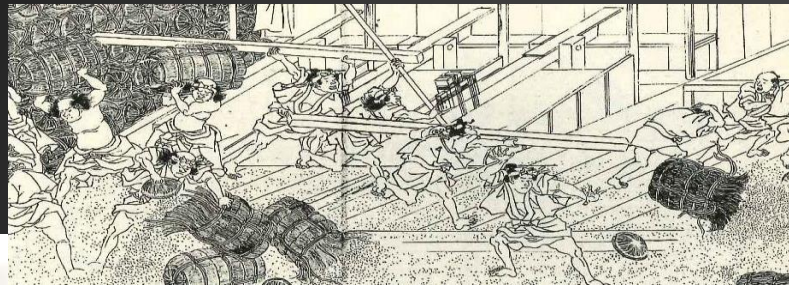
②学習課題について予想する。

③資料を使って，当時の世の中の様子を調べる。

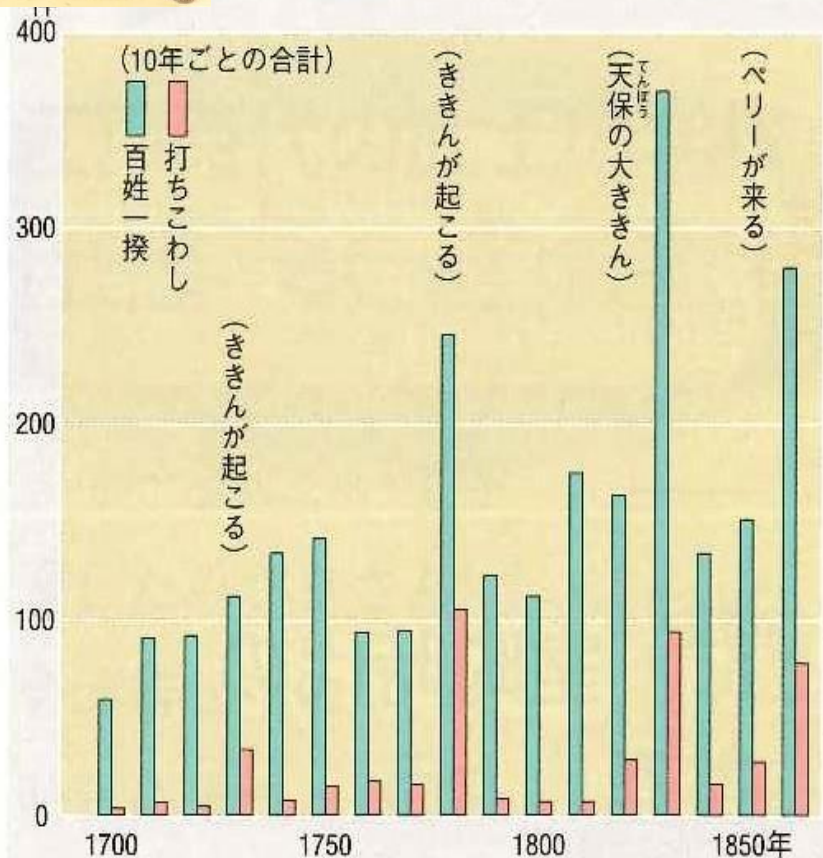
④資料から読み取ったことをもとに，幕府や藩の力について話し合う。

⑤本時の学習を振り返る。

## 学習活動1、2 本時の学習課題をつかみ、予想する。



一揆やうちこわしなどにより、幕府や藩の力はようになっていったのだろう。



幕府や藩は対応に困ったのではないのかな。力も弱くなっていったと思う。



江戸幕府の力は安定していたから、力は変わらなかったのではないかな。





## 学習活動3 資料を使って、当時の世の中の様子を調べる。

### 資料1

#### 役人を批判した大塩平八郎

天保の大ききんの時に、人々は食料不足でうえていた。特に、大阪では、その当時、毎日150～200人をこえる人がうえてなくなっていたようである。

幕府の元役人だった大塩平八郎は、食料不足で苦しむ人々を救おうと役人に対して訴えたが、全く聞き入れられなかった。そこで、町の人々を救おうとしない役人を批判し、大阪で反乱を起こした。大塩平八郎の乱である。平八郎は大商人から米などを取り上げて、苦しんでいる人々に分けあたえようとした。この時、平八郎の考えに共感した人々が大勢これに加わり、総勢300名くらいの勢力になった。

結局、この計画は失敗したが、幕府の元役人だった大塩平八郎が大阪という重要な場所で反乱を起こしたことは、幕府の人々や政治に不満をもつ人にしょうげきをあたえた。うわさは各地に広がり、この乱以後、全国でよく似た事件がひんばんに起きるようになってきた。

#### 大塩平八郎が起こした反乱の様子



大塩平八郎

### 資料2

#### 洪染一揆

岡山藩では、財政が苦しくなったので節約をするように人々に命令した。そのとき、百姓や町人とは別に、身分上厳しく差別されてきた人々には、差別をさらに強める命令を出した。

例えば、

・ 洪や藍で染めた無地の木綿以外の着物まいけない  
(遠くから見ても、服そうで差別されてきた人々だと分かる)

・ 雨のときでも、かささしたり、げたをまいたりしてはいけない

などである。

百姓と同じように年貢を納めているのに、あまりにもひどい差別だと、彼らは立ち上がった。

これを、洪染めの服そうにちなんで洪染一揆という。

53カ所というたくさんある村から、身分上厳しく差別されてきた人たちの代表が出てきて、千数百人もの人たちが藩の役所におしかけて、差別を強める命令をやめるようにうったえた。当時、武士に対して低い身分の者が直接うたえるという行動は許されていなかった。そのため、牢に入れられたり、その間に病気で亡くなったりする人も出たが、とうとうこの命令を履行させなかった。

### 学習活動3 資料を使って、当時の世の中の様子を調べる。

**学** 一揆や打ちこわしなどにより、幕府や藩のかは、どうなっていたのだろう

**ま** 幕府や藩のかは、反乱や一揆、打ちこわしをおさえられなくなったり、新しい学問を学ぶ人に批判されたりして弱くなった。

**ふ** これから江戸幕府がどうなっていくのか、知りたい。Vチャットを使って、幕府や藩について、グループでしゃべった。

身分上厳しく差別されてきた人たち  
藩にうたえ 認め いた  
命令が実行されなかった。  
さらにひどい差別

弱くなった、信用されなくなった  
事件を解決できなくなった

正しい政治をするべき！




意見 批判 ひはん

近ごろは、一揆や打ちこわしがほうほうで起こっています。昔は、めったにありませんでした。こうなったのは、人々が悪いからではなく、政治をする人が、正しくないことをおし通そうとするからです。

おもしろい  
宮長が幕主に出した意見書の一部

大塩平八郎(元役人)  
米をとりあげ ← 人々を救わない役人を批判  
苦しんでいる人々に  
計画は**失敗** → 人々に大きな**えいきょう**  
↓  
全国で似た事件

大塩平八郎の乱





# 学習活動4 資料から読み取ったことを基に、幕府や藩の力について話し合う。

おしおへいはもろもろさん  
**大塩平八郎の乱**

大塩平八郎(元役人)

米をとりあげ ← 人々を救わない役人を批判  
苦しんでいる人々に

↓  
計画は**失敗** → 人々に大きな**えいきょう** (衝撃)  
↓  
全国で似た事件

**学**

一揆や打ちこわしなどにより、幕府や藩の力が弱くなっていったのだろう

弱くなった、信用されなくなった  
事件を解決できなくなった

正しい政治を  
するべき!

宮長が幕主に出した意見書の一部  
近ごろは、一揆や打ちこわしが  
ほうほうで起こっています。昔は、  
めったにありませんでした。こ  
うなったのは、人々が悪いから  
ではなく、政治をする人が、正  
しくないことをおし通そうとする  
からです。

意見 批判  
ひはん

幕府 藩 一揆

身分上厳しく差別されてきた人たち

藩にうたえ  
認められた

さらに  
ひどい  
差別

命令が実行されなかった

**ま** 幕府や藩の力は、反乱や一揆、打ちこわしをおさえられなくなったり、新しい学問を学ぶ人に批判されたりして弱くなった。

**ふ** これから江戸幕府がどうなっていくのか、知りたい。Vチャットを使って、幕府や藩についてグループでしゃべった。



# 学習活動5 本時の学習を振り返る。

おしおへいはもろあつらん  
**大塩平八郎の乱**

大塩平八郎(元役人)

米をとりあげ ← 人々を救わない役人を批判  
苦しんでいる人々に

↓  
計画は**失敗** → 人々に大きな**えいきょう** (ダメージ)  
↓  
全国で似た事件

**学**

一揆や打ちこわしなどにより、幕府や藩のかは、どうなっていたのだろう

弱くなった、信用されなくなった  
事件を解決できなくなった

正しい政治を  
するべき!

宮長が幕主に出した意見書の一部

近ごろは、一揆や打ちこわしが  
ほうぼうで起こっています。昔は、  
めったにありませんでした。こ  
うなったのは、人々が悪いから  
ではなく、政治をする人が、正  
しくないことをおし通そうとする  
からです。

意見 批判  
ひはん

身分 一揆

身分上厳しく差別されてきた人たち

藩にうたえ  
認められた

さらに  
ひどい  
差別

**ま** 幕府や藩のかは、反乱や一揆、打ちこわしをおさえられなくなったり、新しい学問を学ぶ人に批判されたりして弱くなった。

**ふ** これから江戸幕府がどうなっていくのか、知りたい。Vチャットを使って、幕府や藩についてグループでしゃべった。

今回の実践では、

### 第1次

『熙代勝覧』や年表の  
読み取り

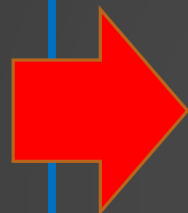


分かっていることや

はてなの共有



単元全体の問い



次	学習活動
一	<ul style="list-style-type: none"><li>資料から江戸のまちや人々の様子を読み取る。</li></ul> <div style="border: 1px solid white; padding: 5px; text-align: center;">どのような文化や学問が生まれ、世の中はどのように変わっていったのだろう。</div>
二	<ul style="list-style-type: none"><li>江戸の文化や学問について調べ、まとめる。(2時間)</li><li>調べたことについての発表会をする。</li><li>一揆や打ちこわしなどにより、幕府や藩の力はどうなっていったのかを考える。(本時)</li></ul>
三	<ul style="list-style-type: none"><li>江戸の町人文化や新しい学問で活躍した人物に表彰状を書く。</li></ul>



1 学習指導要領のポイント

2 第6学年「町人の文化と新しい学問」の実践

3 単元づくりに挑戦！

# 指導要領分析→単元づくりシート作成

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

エ 源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いを手掛かりに、武士による政治が始まったことを理解すること。

シ 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

指導要領を基に、問いとまとめを考え、単元をつくりましょう。

## 単元構成 第6学年 「武士による政治が始まる」

次	学習課題(問い)と一時間のゴール(まとめ)
一	①問い:武士はどのような暮らしをしていたのだろう。 まとめ:武士は自分の領地を守るために、刀の練習や馬の世話など、戦いに備える暮らしをしていた。 学習問題:武士が現れて、世の中はどのようになっていったのだろう。
二	②問い:平氏は栄えたのに、すぐに滅びたのはなぜだろう。 まとめ:平氏は、藤原氏と同じやり方で権力をにぎった。しかし、源氏との戦いに敗れ、すぐに滅びた。
三	③問い:源頼朝はどのような政治を行ったのだろう。 まとめ:源頼朝は鎌倉に幕府を開き、全国に守護・地頭を置き、全国を支配しようとした。御家人とご恩と奉公の関係を結び、武士のための政治を行った。
四	④問い:鎌倉幕府は元とどのように戦い、その後どうなったのだろう。 まとめ:鎌倉幕府は、元の戦い方に苦しめられたが、御家人の命がけの戦い、暴風雨のおかげで、元を二度ともしりぞけた。幕府は御家人に領地を与えられず、関係が悪くなり、力が弱くなっていった。

## 単元構成 第6学年 「武士による政治が始まる」

次	学習課題(問い)と一時間のゴール(まとめ)
一	<p>①問い:武士はどのような暮らしをしていたのだろう。 まとめ:武士は自分の領地を守るために、刀の練習や馬の世話など、戦いに備える暮らしをしていた。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"><p>学習問題:武士が現れて、世の中はどのようになっていったのだろう。</p></div> <p>②問い:平氏は栄えたのに、すぐに滅びたのはなぜだろう。 まとめ:平氏は、藤原氏と同じやり方で権力をにぎった。しかし、源氏との戦いに敗れ、すぐに滅びた。</p> <p>③問い:源頼朝はどのような政治を行ったのだろう。 まとめ:源頼朝は鎌倉に幕府を開き、全国に守護・地頭を置き、全国を支配しようとした。御家人とご恩と奉公の関係を結び、武士のための政治を行った。</p> <p>④問い:鎌倉幕府は元とどのように戦い、その後どうなったのだろう。 まとめ:鎌倉幕府は、元の戦い方に苦しめられたが、御家人の命がけの戦い、暴風雨のおかげで、元を二度ともしりぞけた。幕府は御家人に領地を与えられず、関係が悪くなり、力が弱くなっていった。</p>



単元構成 第4学年 「多文化共生を目指す高松市の姿」

次	学習課題(問い)と一時間のゴール(まとめ)
一	<p>①問い:外国の人々が多く住む地域は県内のどこだろう。          まとめ:高松市が一番多く、4000人を超える外国の人々が住んでいる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>学習問題:外国人が多く住む高松市は、どのようなまちづくりをしているのだろう。</p> </div> <p>②問い:学習問題について予想をしよう。          まとめ:外国人と交流したり、外国人に日本のことを教えたりしたりしているのではないかな。          確かめていきたい。</p> <p>③問い:高松市では、外国人とどのような交流をしているのだろう          まとめ:高松市は、フランス、アメリカ、中国、台湾と姉妹・友好都市となって、相手の都市に行ったり、高松に来てもらったりして交流している。</p>
二	<p>④問い:高松市国際交流協会では、外国人とどのような交流をしているのだろう。          まとめ:高松市国際交流協会では、ボーリングやお菓子作り、夏祭りでの踊りなど、日本人と外国人が交流するイベントを行っている。</p> <p>⑤問い:高松市では、困っている外国人に対してどのような取組をしているのだろう。          まとめ:市は通訳やタブレットでの対応、防災訓練をしている。国際交流協会は日本語の指導を行っている。</p> <p>⑥問い:仏生山地域の十河さんは、どのような取組をしているのだろう。          まとめ:生け花などの日本文化を教えたり、スポーツ大会や防災訓練をしたりしている。</p> <p>⑦問い:十河さんは、なぜ、防災訓練で外国の料理を出しているのだろう。          まとめ:宗教によって食生活が違うので、十河さんは、イスラム教を信じる人たちも食べられる料理にした。日本人に外国人の宗教や食について知って、理解してもらおうという気持ちをもっている。</p> <p>⑧問い:十河さんが目指す多文化共生の地域とは、どのようなものだろう。          まとめ:十河さんは、多文化共生の地域になるために、外国人が交流イベントを企画・運営する立場になっていくことを目指している。</p> <p>⑨問い:多文化共生社会になるために、高松市はどんなまちを目指していけばよいのだろう。          まとめ:外国人が支える側にまわることで、外国人の立場に立って支援や交流ができる。そうすると日本人も外国人も住みやすい高松市になっていく。</p>
三	<p>⑩問い:外国人が多く住む高松市は、どのようなまちづくりをしているのだろう。          まとめ: 省略(1~9時間の学習を基に、分かったことや思ったことをまとめる。)</p>

次	学習課題(問い)と一時間のゴール(まとめ)
一	<div data-bbox="225 488 1461 607" style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 20px 0;"> <p>学習問題:</p> </div>





# アンケートのお願い

ご参加いただいた皆様の声を基に、今後のワークショップをより充実させていきたいと考えております。

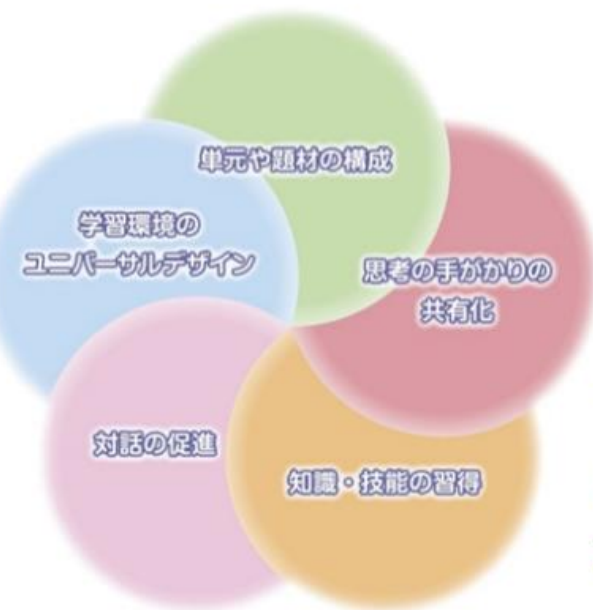
チャットにありますURLより、アンケートにご協力ください。忌憚のないご意見をどうぞよろしくお願いいたします。



# さらに深く学びたい方へ

本校研究図書のご案内

全218  
ページ  
フルカラー



## 授業を変える

5つの視点

香川大学教育学部附属坂出小学校 刊行物案内

ワークショップご参加特別価格

~~2000円~~ → 1800円

サンプルページは裏面または本校ホームページより  
ご覧になれます。お申込用 FAX はこちらから



書籍購入 QR コード

### 授業改善の第一歩をこの1冊から

授業づくりで大切なことを5つの視点としてまとめました。それらの視点なぜ大切なのか、また、それぞれの視点について授業の中でどのように働きかけるのかを、実践事例に沿って具体的に示しています。すぐに授業づくりに活用できるように、すべての実践事例において、単元及び題材計画と板書写真、子供たちの様子が伝わる写真や表現物を掲載しています。さらに、実践事例に加え、元教科調査官（道徳）七條正典先生や香川大学坂井聡先生など大学の先生方から専門的なコメントをいただき掲載しております。より詳しい内容を知りたい方は、本校ホームページよりご覧ください。



本校ホームページ

見やすく  
分かりやすい  
誌面構成

具体的な  
発問

カラー  
アイコン

働きかけの  
詳細

板書記録

その他「各教科のQ&A」「ちょっとひと工夫」など、お役立ち情報をたくさん掲載しています。

UD 事前の質問紙調査の結果から、友達を「許せなかった経験」のある人数を棒グラフで表し、視覚的に捉えやすくするとともに、それぞれの理由も表示し、違う立場の友達がいることや、同じ立場でもその理由には多様性があることに気付かせます。

UD 心メーターは、微妙な心の揺れ動きを色の割合で表現できる道具です。

学習活動3 教材文を読み、ゆきえさんを許せるかどうかを再度心メーターに表し、活動2から変化させた表情を話し合います。

あなたがいずさんの立場なら、ゆきえさんを許すことができますか。

対話 「許せる」「許せない」の2つの気持ちを対立軸として表裏に示します。再度、各自の心メーターに気持ちを表し、心メーターが動いた子どもには順番上の名前順石を移動させます。こうすることで、互いの考えの異同が明確になり、相互に聞いてみたいという思いを高め、対話が活性化します。

ゆきとゆきえさんも悲しい思いをしていると、けい子さんは驚いたのだと思います。

相手の気持ちに気付いたら、まだ友達に笑われたのだと思います。

学習活動4 本時を振り返り、まとめをする

「相手の思いやる」とはどういうことですか。

「思いやりのある行動」とはどういう行動ですか。

相手の気持ちに気付いて、お互いが笑顔になれる行動をすることです。

# さらに深く学びたい方へ

道徳の参考図書のご案内

## さあ始めよう 道徳科授業づくり入門

小学校実践事例  
全11本収録

監修：七條正典 植田和也  
編著：清水顕人 山本健太

美巧社

## 第1章

### 道徳科の授業づくり基礎・基本

- 1 「道徳教育の目標」と「道徳科の目標」を確かめよう
- 2 道徳科で大切にしたい学習を理解しよう
- 3 内容項目を深く理解しよう
- 4 教材を読み込み、中心的な発問と基本発問を考えよう
- 5 学習指導案を作成しよう
- 6 指導方法を工夫しよう
- 7 評価について理解しよう
- 8 家庭や地域に発信しよう



## 第2章

### さらなる充実を目ざして

- 1 若手教員に向けてのメッセージ
- 2 子どもたちの問いから始まる授業
- 3 子どもの自己評価や相互評価を、教師が行う評価に生かす
- 4 若年研修の在り方・授業研究の工夫
- 5 メタ認知を促す授業づくり
- 6 道徳科の授業を支える学級経営



## 第3章

### 「特別の教科 道徳」の授業事例 (小学校)

- 【低学年】
- 1 およげないりすさん
  - 2 ないた赤おに
  - 3 黄色いベンチ
- 【中学年】
- 4 絵葉書と切手
  - 5 心と心のあくしゅ
- 【高学年】
- 6 スランコ乗りとピエロ
  - 7 ロレンスの友達
  - 8 銀のしよく台
  - 9 道子さんに出したパス
  - 10 のりづけされた詩
  - 11 友香のために (モラルジレンマ教材)





# 夏の教員研修のご案内

## 第2回らくらくステップアップセミナー



↑申込はこちら

テーマは、板書・発問です。「子供たちにとって分かりやすい板書にしたい」「どうやって発問を精選したらいいのだろう」という教師としての基礎・基本を学び直したいという皆様の声に少しでもお応えしたいと思います。どのようなことに気を付けていくと思考を促したり、理解を深めたりしていけるのか、一緒に考えましょう。

第2弾

8月17日(火)

18:00~19:30

第3弾

8月21日(土)

13:10~16:55

## 第3回わくわく授業づくりワークショップ

(授業づくりラボ 第1回学習会)

テーマ

「子供がときめく学びの作り方」

主催：四国地域教職アライアンス 香川大学センター



↑申込はこちら

子供が  
ときめく  
授業づくりと  
若年教員研修を  
語る

算数科提案  
子供の問いを  
つなげる単元  
構成の工夫で、  
子供と算数を  
創る

理科提案  
生活とつないで  
学びを深める  
～プログラミング  
学習を取り入れて～

香川大学  
教職大学院の  
笹屋孝允先生  
による講演  
「学級経営の  
観点から見た  
授業研究」